

## 「香川・損保ジャパンの森」で、第3回の植林を実施 ～フォレストマッチングで協働の森づくり～

去る5月31日、日曜日、(株)損害保険ジャパン高松支店の社員とその家族の皆さん約100名が、高松市塩江町の内場池上流でヒノキ300本の植林を行いました。この活動は、19年11月に、県と同社、塩江町森林組合が締結した「フォレストマッチング協働の森づくり」に基づくもので、快晴のもと、参加者は心地よい汗を流しました。



＜2時間の活動を終え、みんなで記念撮影＞

参加者は、一昨年、昨年の植林で、元気に育ったヒノキの横を、補助ロープを頼りに、急な坂道に足を滑らせないように一歩ずつ慎重に進んでいきました。

県や森林組合のサポートのもと、急斜面に負けないように必死で足を踏ん張りながら、クワで穴を掘り、ヒノキの苗木を一本一本丁寧に植えていきました。



＜急傾斜にも負けず植林現場へ＞



＜ヒノキを一生懸命植える子どもたち＞



＜急斜面での植林に汗を流す(株)損害保険ジャパンの皆さん＞

今年が3回目の活動となるため、植え方の技術も習得され、踏み固めもしっかり行い、着々と植林を進めていきました。心地よい汗をかきながら、2時間程で0.1haの区域に300本のヒノキが植林されました。

「香川損保ジャパンの森」が近い将来、豊かな森林となることでしょう。